



## 【阪神高速 未来<sup>あす</sup>へのチャレンジプロジェクト】 第2回助成事業の決定について

阪神高速道路株式会社（大阪市北区、代表取締役社長:吉田光市）は、グループ会社6社（※）及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、昨年4月より【阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト】をスタートしました。

（※）阪神高速サービス株式会社、阪神高速技術株式会社、  
阪神高速パトロール株式会社、阪神高速トール大阪株式会社、  
阪神高速トール神戸株式会社、阪神高速技研株式会社

本プロジェクトは、市民団体が阪神高速道路沿線で行う公益的な活動に対し、公募により助成を実施するもので、市民団体との協働により社会課題の解決を図り、地域・社会の持続的発展及びSDGs達成へ貢献していくことを目的としています。

第2回助成として、2022年3月1日から4月20日まで、3つのテーマ（①安全・安心なまちづくり、②持続可能な環境づくり、③次世代を担う人づくり）に沿った事業プランを募集したところ、計27事業の応募をいただきました。これらを厳正に審査した結果、以下の8事業へ総額400万円の助成を実施することを決定しました。

団体名	事業名称	事業概要
一般社団法人 イドミィ	小中学生向け・SDGs アクション実践機会提 供事業	小中学生がSDGsの学びを活かした実践的なアクションができる機会を提供する。具体的には、「子ども主体の単発イベント」「本作り」「SDGsフェスティバル」「SDGsファッションショー」を実施する。
特定非営利活動法人 大阪海さくら	大阪湾でアマモを育て 海の生物を知ろう、淀 川ゴミ拾い『大阪海さ くら』	「大阪市民が海の素晴らしさを学び、自然豊かな大阪湾になって、みんなで幸せになる」ため、淀川下流の定期清掃などの海の清掃活動、アマモ移植活動、海の生物や大阪湾を知る活動の3つの柱で活動する。
特定非営利活動法人 O'hana 親と子の絆を 育むお手伝い	家庭訪問による育児支 援活動の基盤・ネット ワークづくり	社会的養護の若年の初めての出産に対して妊娠期から見守り、家族のしあわせと虐待のない日常生活を実現することを目的に、育児支援員が1週間に1回の家庭訪問による育児支援を無償で行う。

団体名	事業名称	事業概要
NPO 法人 こうのとりの unit	パパの育児参画と妊婦・母児の災害対応	プレパパの育児参画を目指した妊婦体験（妊婦ジャケット着用）時に、災害想定 VR・AR により視覚的な危機感を体験することにより、妊婦・産婦の災害対応・減災へのイメージトレーニングを重ね、周到な準備につなげる。
特定非営利活動法人 ここ	不登校の子どもたちの学校外の学びの場「フリースクールここ」で就労体験ができる子どもカフェ×地域の居場所	不登校の子どもたちの学校外の学びの場「フリースクールここ」でカフェを運営しながら、地域のカフェ経営者やキャリア教育の講師を招き、不登校を経験した子どもたちの自尊心を高め地域のコミュニティづくりに貢献する。
NPO 法人 JAE	外国人児童・地域の飲食店の協働プログラムの他地域展開	外国にルーツがある子どもたちが、飲食店と協働して、母国にちなんだメニュー開発プログラムの運営ツールを作成し、各地域の学校・飲食店が取り組むきっかけをつくる。
ナッツワークス (NUTsWoRKs)	地域で取り組む、荒廃竹林の資源活用、活動周知に向けた取り組み	荒廃竹林の資源活用による持続可能な循環型のまちづくり。厄介者の竹を資源活用する取り組みと、その活動を周知する場として『竹祭り（仮）』の開催を他団体と連携して実施することで、人と人とを繋ぐ取り組み。
東お多福山草原保全・再生研究会	東お多福山の生物多様性豊かなススキ草原の保全・再生と活用	六甲山系にある東お多福山草原において、年 7 回のネザサの刈り取り、年 2 回の植生モニタリング調査、毎月 1 回の観察会を行う。

(団体名の 50 音順)

なお、活動成果については、2023 年 11 月頃、弊社 HP 等で公表する予定です。

今後も、本プロジェクトを通じて、地域・社会の持続的発展に貢献できる活動を応援し、明るい未来の共創に努めてまいります。

